

# 音楽リズムに関する一考察

## —行事と幼児歌曲—

菊 本 哲 也

は じ め に

音楽リズムのテキストとしていくつかの書を使用してみたが、そのいずれにも選曲に関する不満や疑問が残った（客観的意味において……）。そこで幼稚園での実践的基本教材としての幼児歌曲を調べ、今回は特に〈行事〉を中心とした選曲を試みることにした。なお関係書の掲載率を比較対照させて、より標準的・平均的結果が出るよう配慮した。

### I 研究 方 法

1. 関係書（15冊）の掲載例による選曲……………A
2. 幼稚園（20園）での使用例による選曲……………B
3. AとBによる行事を中心とした選曲

関係書は、手近ないくつかの著書の中から、新作歌曲を主としたものや独特の傾向をもつものを避けて、幼児歌曲集5冊、音楽リズムのテキスト10冊の計15冊で統計をとってみた。これらの書の選択については、比較的新しいけれども広く知られている歌曲が欠けるなどの問題がないわけではないが、ここではふれないことにする。

#### 15の関係書一覧（順不同）

- 標準幼児歌曲集（音楽春秋社）
- 幼児歌曲集1・2：山本道子編（音楽教育社）
- 保育音楽のための幼児歌曲集：保育音楽研究会編（共同音楽出版）
- わたしのうた おかあさんのうた（久我山幼稚園）
- 日本童謡名曲110曲集（全音楽譜出版社）
- やさしいこどものうたとあそび：小林つや江他共編著（ドレミ出版社）
- うたとあそび1・2：戸倉ハル・小林つや江共書（不味堂）
- 新しい幼児の音楽教育1・2：板野平編著（全音楽譜出版社）
- 保育音楽・仲よし合奏上・下：酒田富治編著（全音楽譜出版社）
- 幼児の楽器あそび十二か月：野口善太郎著（全音楽譜出版社）
- 幼児の観察十二か月：井上萬里子著（全音楽譜出版社）
- 幼児保育のための音楽リズム№1・2・3：板野平他共著（東亜音楽社）

たのしい音楽リズム：真篠将・村浦とく編著（明治図書）

創造の音楽リズム：河井富美恵監修（科学書院）

音楽リズム教師指導書・リズムにのって1（ヤマハ音楽振興会）

幼稚園については特にバラエティを求めたわけではなく、東京女子体育短期大学児童教育学科の49年度教育実習園のうちから、報告を寄せて下さった20の幼稚園の統計をとったものである。

#### 20の幼稚園一覧（アイウエオ順）

開進幼稚園（町田市）	多摩みどり幼稚園（東村山市）
北山幼稚園（府中市）	東京多摩幼稚園（武蔵村山市）
清瀬もみじ幼稚園（清瀬市）	東京緑ヶ丘幼稚園（調布市）
久我山幼稚園（杉並区）	東洋幼稚園（杉並区）
久留米第二幼稚園（東久留米市）	八王子たま幼稚園（八王子市）
小金井幼稚園（小金井市）	八王子なかの幼稚園（八王子市）
こばと幼稚園（立川市）	八幡幼稚園（杉並区）
白糸台幼稚園（府中市）	福島学園幼稚園（青梅市）
しらぎく幼稚園（東村山市）	町田こばと幼稚園（町田市）
すみれ幼稚園（武蔵野市）	元八王子幼稚園（八王子市）

## Ⅱ 結果と考察

ここではAとBの調査結果のうちから、紙面の都合もあるので各調査対象数の約半数（過半数ではない）に達する各々30曲余りを選んで考察を進めることにする。しかし考察の途中では次の表以外の歌曲にふれることもある。なお表には考察に必要なメモ（行事など）を記入しておいた。

#### 結果一A 関係書によるベスト31曲（1,000余曲中）

1（11）ちゅうりっぷ（井上）	……………春	
海（井上・一宮）	……………夏	小1（井上）
たきび（渡辺）	……………冬	
お正月（滝）	……………正月（年末）	
5（10）こいのぼり（えほん唱歌）	……………5月5日	子供の日
ぞうさん（團）	……………小1	
おつかいありさん（團）		
まつぼっくり（小林）	……………冬	
9（9）めだかの学校（中田）	……………春	小1
とんぼのめがね（平井）	……………秋	
大きなたいこ（中田）		

- 12 ( 8 ) 春 ( 井上 ) ……………春  
くつがなる ……………春  
いたずらすずめ ( 中田 )  
手をたたきましよう ( 不詳 )  
おもちゃのマーチ ( 小田島 )  
たなばたさま ( 下総 ) ……………7月7日七夕 小1  
赤い鳥小鳥 ( 成田 ) ……………秋  
かごめかごめ ( わらべうた ) ……………小1  
ひらいたひらいた ( わらべうた ) ……春
- 21 ( 7 ) 水あそび ( 滝 ) ……………夏  
ぶんぶんぶん ( ボヘミア ) ……………春  
ふしぎなポケット ( 渡辺 )  
どんぐりころころ ( 梁田 ) ……………秋  
こおろぎ ( 芥川 ) ……………秋  
豆まき ( えほん唱歌 ) ……………2月3日節分  
春よ来い ( 弘田 ) ……………冬・初春  
犬のおまわりさん ( 大中 )  
金魚のひるね ( 弘田 ) ……………夏  
たこの歌 ( 文部省唱歌 ) ……………正月  
指の歌 ( 外国曲 )

1 ( 11 ) は順位と実数。《海》にかぎり次のBとの関係で2人の作品をまとめてある ( 実数は井上6, 一宮5である )。なお小1, 小2 ……は小学校共通教材の学年を示す。

結果一B 幼稚園でのベスト36曲 ( 500余曲中 )

- 1 ( 20 ) こいのぼり ( えほん唱歌 ) ……………5月5日子供の日  
2 ( 18 ) 時計の歌 ( 村上 ) ……………6月10日時の記念日  
とんぼのめがね ( 平井 ) ……………秋  
もみじ ( えほん唱歌 ) ……………秋 小2  
5 ( 17 ) たなばたさま ( 下総 ) ……………7月7日七夕 小1  
海 ( 井上・一宮 ) ……………夏 小1 ( 井上 )  
7 ( 16 ) お母さん ( 中田 ? ) ……………5月母の日 小2 ( 中田 )  
8 ( 15 ) たきび ( 渡辺 ) ……………冬  
お正月 ( 滝 ) ……………正月 ( 年末 )  
10 ( 14 ) まつぼっくり ( 小林 ) ……………冬  
北の国から ( 則武 ) ……………冬  
12 ( 13 ) めだかの学校 ( 園 ) ……………春 小1  
運動会の歌 ( 木原・則武 ? ) ……………10月10日体育の日  
豆まき ( えほん唱歌 ) ……………2月3日節分

- 15 (12) しゃぼんだま (中山) …………… 夏 小2  
 どんぐりころころ (梁田) …………… 秋
- 17 (11) 歯をみがきましょう (則武) …………… 6月4日むし歯予防デー・生活  
 えんそく (?) …………… 5月・初夏  
 こおろぎ (芥川) …………… 秋
- 20 (10) 雨 (小松・中山?) …………… 梅雨  
 七夕まつり (えほん唱歌) …………… 7月7日七夕  
 きくの花 (本多・井上) …………… 11月3日文化の日  
 ひなまつり (一宮・河村?) …………… 3月3日ひなまつり  
 思い出のアルバム (本多) …………… 3月  
 山の音楽家 (ドイツ) …………… 小4  
 おべんとうの歌 (?) …………… 生活
- 27 (9) 小鳥の歌 (芥川) …………… 春  
 かえるのうた (ドイツ) …………… 梅雨 小2  
 水あそび (滝) …………… 夏  
 波と貝がら (中田) …………… 夏  
 夕やけこやけ (草川) …………… 秋  
 小さい秋見つけた (中田) …………… 秋  
 こぎつね (ドイツ) …………… 冬 小3  
 雪 (えほん唱歌?) …………… 冬 小2  
 お帰りの歌 (一宮) …………… 生活  
 走るのだいすき (佐藤)

(?)は報告書に作者名がなく、同名異曲あるいは類歌の総称となっている。

#### 考察—1

まずAとBの総体的所見から考察を始めることにする。ひとことでいえば、Aは音楽的選曲、Bは実践的選曲ということができよう。これは当然のことかも知れないが、Aは〈歌曲集〉を数冊含んでいることもあって、美しい歌、広く知られた歌などバラエティに富んでいる。さらにくわらべうたも選曲されており、なかでも旋律的にすぐれたものが選ばれている。すなわちAはその編集上の事由もあって、〈歌曲〉として整った作品が多いのである。編集上の事由とは、それらの書がテキストとしての目的以外に、一般販売という社会性、そしてうがった見方をすれば営利的意味もないとはいえないということである。

一方Bの場合は行事の歌が中心となっている。幼児教育の一領域にく社会性〉がうたわれており、その意味においては行事に関する活動が多くなることもやむを得ない。しかしささか行事に追われすぎているように思われる。もっともAに含まれてBには欠けている歌(《ぞうさん》《おつかいありさん》《くつがなる》など)は、幼稚園で教えるまでもなく、すでに園児が知っている場合が多い。したがって特にとりあげる必要がないのか

もしれない。またBでは年少・年長の区別をしなかったために、年少児のためのやさしい歌や年長児のためのやや高度な歌などは順位がさがっており、いきおい全園児に共通の行事の歌が多くなってしまった。さらにAでは前にことわったように新作歌曲集などを避けたために、《北の国から》《歯をみがきましょう》などのようにすでに幼稚園では広く普及している歌が欠けることになった。

ところで幼稚園の行事とはどのようなものかを一般行事とともに列記し、それらに関する歌曲をいくつかとりあげてみよう。

行 事 表

月 日	一 般 行 事	幼 稚 園 の 行 事 と 歌
4 8	(花まつり) (交通安全)	入園《今日からお友だち》 春の歌………
29	天皇誕生日	誕生会の歌………
5 3	憲法記念日	遠足
5 5	子供の日 (母の日)	《こいのぼり》 お母さんの歌………
6 4	(むし歯予防デー)	《歯をみがきましょう》
10	(時の記念日) (父の日)	《時計の歌》 お父さんの歌………
	梅雨	《雨》《てるてるぼうず》《かたつむり》………
7 7	(七夕)	《たなばたさま》 プールあそび
8	(盆)	海や山の歌……… 《海》………
9 15	敬老の日 秋分の日 (お月見)	《うちのおじいさんおばあさん》 《月》《うさぎ》 秋の歌………
10 10	体育の日 (体育祭)	運動会 いもほり
11 3	文化の日 (芸術祭)	《きくの花》 展覧会
23	勤労感謝の日	仕事や職業に関する歌………
12 25	(クリスマス)	クリスマス会 《ジングルベル》 《お正月》
	師走	
1 1	元旦	《たこの歌》

月 日	一 般 行 事	幼 稚 園 の 行 事 と 歌
1 15	成人の日	冬の歌……………
2 3	( 節 分 )	＜豆まき＞ ＜雪＞……………
11	建国記念日	＜日の丸＞＜君が代＞? 春を呼ぶ歌……………
3 3	( ひ な 祭 り )  春分の日	＜ひなまつり＞＜うれしいひなまつり＞ 発表会 おわかれ会 ＜思い出のアルバム＞＜一年生になったら＞…………… 卒園……………

この行事表からもわかるように幼稚園では毎月何らかの行事があり、比較的ゆとりがあるのは6月の梅雨どきと、秋の運動会とクリスマスの間くらいである。いわば行事の間をぬって他領域の指導をしていることになる。音楽リズムの立場からも、リズム反応、自由表現、歌唱指導、合奏、鑑賞などを強調したいところであるが、それらは行事に密着させて行わない限り不可能に近い。このように幼児教育の現場では、社会性、人格形成、伝統、文化などの一切を含めて、〈行事〉という強力な支柱を抜きにしてはその活動を考えることができないのが実状である。

#### 考察—2

ここでは幼児歌曲そのものに焦点をしばって、幾つかの作品を例にとりながら考察を進めることにする。先にことわったように、AB以外の歌曲にふれることもあるが、幼児歌曲総論的見地からやむを得ない。

〔詩〕

幼児歌曲の詩は、第二次大戦後の作品ではそれほど問題となることもないが、戦前の作品には文語や接頭語などのむつかしい言葉が多い。たとえばABともに上位にランクされている＜たなばたさま＞(林柳波作詞)では、「のきばにゆれる」(軒端)「きんぎんすなご」(砂子)「ごしきのたんざく」(五色の短冊)などが幼児には難解な言葉であろう。また＜くつがなる＞(清水かつら作詞)の「はれたみそらに」(御空)は、「はれたおそらに」と改めて歌われることがある。私事ながら節分のころに、「ふくのかみ」(福の神)とは何かと子供に聞かれ、うっかり「良い神さま」と答えると、さっそく「ではキリストはふくのかみか……」と聞かれて困ったことがある。幼稚園で＜豆まき＞(えほん唱歌)を習ってきた子供の素朴な質問であったことはいうまでもない。

このような例は比較的新しい歌にもみられるが、それらは詩としてすぐれた作品であっ

でも幼児には理解しにくい言葉を含んでいるのである。《時計の歌》（筒井敬介作詞）は「コチコチカッチンおとけいさん」と始まる。大変かわいい詩であるが、時計を「おとけい」ということもめったにないであろう。

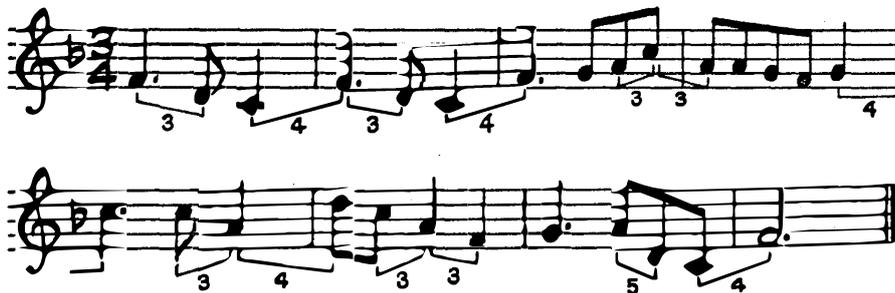
これらの詩も歌曲としてまとまると、その全体的な美しさ（音楽的）によって意味不明のままにある一つの情景として受けとめられており、何らの支障もないようである。しかし言語の領域としてはいささか問題を残すことになるだろう。

### 〔旋律〕

ここでは幼児の歌唱能力に関する問題にふれることになる。一般に幼児歌曲の音域はF—D（ $\text{F} - \text{D}$ ）の6度内を基準としており、広くてもC—D（ $\text{C} - \text{D}$ ）の9度内が限度とされている。たとえば《ぞうさん》（團伊玖磨作曲）はF dur（ $\text{F} - \text{dur}$ ）（ $\text{F} - \text{dur}$ ）でC—Dの音域となっており、幼児歌曲の音域としてはマキシマムということになる。さらに比較的急激な上行・下行や、完全5度以下ではあるが跳躍進行が多い。

### ぞ う さ ん

まどみちお作詞  
團 伊玖磨作曲



このような難度にもかかわらずこの歌が大変親しまれているのは、その旋律が5音音階（いわゆるヨナぬき音階）で構成されているためであろう。ヨナぬき音階による旋律は、順次進行がドレミとソラの部分にしかあられず、《ぞうさん》にみられるように3度や4度の跳躍進行が多くなる。

### ヨ ナ ヌ キ 音 階 (pentatonic)



もっとも自由表現で《ぞうさん》を演奏しながら象のまねをさせると、3拍子であるために拍子からはずれた動きをする子供も多い。

次に旋律構成の基礎的要素であるリズムに関する考察を試みよう。一般に幼児歌曲は

明るくスキッピング・ステップを楽しめる2/4拍子の付点音符(♪)による旋律が多く、《ぞうさん》のような3拍子の旋律は少ない。しかし基本的運動であるスキップや振動(ゆれる)などは、むしろ3拍子・3連符あるいは6拍子といった拍子が本来であり、この点では音楽と運動の大きい相違を感じる。その意味ではAやBの歌曲はいずれも音楽的な範囲にとどまり、動きのリズムへの活用にはもの足りないようである(もっとも近代舞踊的意味での音楽を論ずる場合は別であるが……)。たとえば《ぶらんこ》(芥川也寸志作曲)は2/4拍子であるが、くゆれる感じとしては3拍子系の方が効果的であるところから、かって私は6/8拍子に編曲したことがある。

## ぶ ら ん こ

Andante = 66 environ

都 築 益 世 作 詞  
芥 川 也 寸 志 作 曲

ぶ ら ん こ ゆ れ て お そ ら が ゆ れ る

スキップにしるジャンプにしる跳躍系の運動が3拍子系であることは、そのような動きを特徴とする欧州の民謡(民踊)の多くが3拍子系であることから理解できよう(サルタレロ、ジグ、タランテルラなど)。さらにくゆれる動きを本来とするであろうく子守唄の系列でも、日本の歌は2拍子系が多く、欧州のそれは3拍子系が多い。これは日本では背中におんぶして寝かしつける風習があり、欧州ではゆりかごなどでゆらゆらとねかしつける風習があるためであろう(もっとも舞踊法の立場からは、日本の舞踊には一般に2拍子系の動きが多く、3拍子系の動きはほとんどみられないとされている)。

考察を本来の旋律に関することに戻そう。幼児歌曲の旋律は音域の他にも旋法の問題があることはすでに述べたが、歌唱法の容易なこと(半音がないこと)からその多くがくヨナぬき音階)となっている。たとえ長音階の7つの音がすべて表われる旋律でも、ごく一部の外国曲などを除いてはその骨格がヨナぬきである。その意味においてはAもBもかわりはないが、わずかにAの方に長音階の7つの音がすべてあらわれる作品が多くみられる(《手をたたきましょう》《おもちゃのマーチ》《ぶんぶんぶん》《ふしぎなポケット》《こおろぎ》《犬のおまわりさん》《指の歌》など)。なお派生音が皆無に等しいことはいうまでもない。

## 〔調性〕

幼児歌曲の調は一般に明度の高いシャープ系(D dur, G dur, A durなど)が多い。

とりわけその旋律書法による制約もあってD dur の歌が多く、次いでフラット系のF durが多い(大部分の歌がD durとF durであるといっても過言ではない)。しかし残念なことには単にめんどうなためからか、D dur の場合は多くがC dur に移調されて使用されている。たとえば《こいのぼり》《しゃぼんだま》《おつかいありさん》《くつがなる》《めだかの学校》《手をたたきましよう》などをD durで演奏している例はまれである。D durとC durの調性(tonality)の相違はそれほどないといってしまうまでもであるが、少なくともC durよりもD durの方がより明度が高いことだけは確かである。またEs durの《こおろぎ》がC durで、さらに極端な例としてはF durの《ちゅうりっぷ》もC durで演奏されることがある。この場合はフラット系長調の特長であるやわらかな落付いた感じ、あるいは豊かさや安らぎのある感じがほとんど消えてしまうことになる(もっとも移調してもその旋律から受ける感じがそれほど変わらないのは人類だけであるともいわれているが……)。移調する場合には原調のもつ味わいをそこなわないよう、十分気を配ってほしいものである。このような配慮こそ音楽教育の基礎事項として最も重要なことではあるまいか。

一方、幼児の音域や歌唱能力の制約および機能と声的旋律書法などのために、幼児歌曲の調がD dur, F dur(あるいはC dur, G dur)に限定されていることもやむを得ない事実である。しかしせめて教師の伴奏能力によって調の制約を受けることだけはなるべく避けなければならない(たとえ伴奏型をやさしくアレンジすることは良いとしても……)。

幼児歌曲について以上のような考察を行ってみた。しかし考察1のようなAB間の相違は、ここではあまり問題とはならなかった。これは考察2が、いわば幼児歌曲の内部事情によるものであり、幼児歌曲の外部事情ともいえる考察1とはおよそ次元が異なるためにABの比較対照といったテーマにはならなかったのである。そのかわりに幼児歌曲の本質にわずかながらもふれることができたように思う。

### Ⅲ ま と め

ここでは調査結果と考察とにもとづいて幼児歌曲の選択を行う。Bからもわかるように幼稚園では行事や生活の歌が中核となっており、それらの歌曲は幼稚園教育における重要な基礎教材である。またBに欠けている《ぞうさん》《いたずらすずめ》《大きなたいこ》《おもちゃのマーチ》《手をたたきましよう》《ふしぎなポケット》《指の歌》なども、広く親しまれている名曲というだけでなく、リズム教育、自由表現、大小強弱の比較、創造性、その他社会性、遊戯性、生活、家族関係などのすぐれた教育効果を期待できる。これらのことを考慮しながら行事を中心とした幼児歌曲を次のような方法で選んでみた。

1. AとBとの実数を加えた35の約半数に達する36曲をまずとりあげる。
2. 残る歌曲の中からBを重視した行事や生活の歌を加える。

1については、AやBの調査対象を特に厳選したわけではないので、3対4(15対20)というアンバランスな数比ではあるが、その実数を加算して選曲することにした(関係書

の掲載例よりも幼稚園での使用例の方がやや有利である)。したがってこの調査結果に絶対的・決定的選曲を期待することは不可能であり、またこのような平均的選曲そのものを無意味とする見方もあろうが、幼児教育における基本教材としての幼児歌曲に関する一資料として、いくばくかの意義はあるものと考えられる。

### 1. A+Bのベスト36曲

- 1 (30) こいのぼり (えほん唱歌) ..... 5月5日 子供の日
- 2 (28) 海 (井上・一宮) ..... 夏 小1 (井上)
- 3 (27) とんぼのめがね (平井) ..... 秋
- 4 (26) たきび (渡辺) ..... 冬  
お正月 (滝) ..... 正月 (年末)
- 6 (25) たなばたさま (下総) ..... 7月7日 七夕 小1
- 7 (24) もみじ (えほん唱歌) ..... 秋 小2  
まつぼっくり (小林) ..... 冬
- 9 (23) お母さん (中田?) ..... 5月 母の日
- 10 (22) めだかの学校 (團) ..... 春 小1
- 11 (21) 時計の歌 (村上) ..... 6月10日 時の記念日  
豆まき (えほん唱歌) ..... 2月3日 節分
- 13 (20) どんぐりころころ (梁田) ..... 秋
- 14 (19) えんそく (?) ..... 5月・初夏  
こおろぎ (芥川) ..... 秋  
運動会の歌 (木原・則武?) ..... 10月10日 体育の日
- 17 (18) おつかいありさん (團)
- 18 (17) ぞうさん (團)  
水あそび (滝) ..... 夏  
大きなたいこ (中田)  
ちゅうりっぷ (井上) ..... 春
- 22 (16) 北の国から (則武) ..... 冬  
手をたたきましよう (不詳)
- 24 (15) 小鳥の歌 (芥川) ..... 春  
きくの花 (本多・井上?) ..... 11月3日 文化の日  
雪 (えほん唱歌?) ..... 冬 小2  
ふしぎなポケット (渡辺)
- 28 (14) 雨 (小松・中山?) ..... 梅雨  
おべんとうの歌 (?) ..... 生活  
夕やけこやけ (草川) ..... 秋  
こぎつね (ドイツ) ..... 冬  
ひなまつり (一宮・河村?) ..... 3月3日 ひなまつり  
走るのだいすき (佐藤)

- シングルベル（ピアポンド） ……12月25日クリスマス  
 春よ来い（弘田） ……冬・初春  
 赤い鳥小鳥（成田） ……秋

このうち7曲は先に述べた複数の歌、すなわち同名異曲あるいは幾つかの類歌の総称となっているものである。しかしここではそのまま記入しておくことにした（いずれにせよその種の歌を必要とするのであるから……）。

## 2. その他行事・生活などに必要と思われる歌（作曲者名のないものは1.と同様無指定）

- 朝の歌 ……始業のあいさつ・生活  
 お帰りの歌（一宮） ……生活  
 今日からお友だち（佐々木） ……入園  
 誕生日の歌 ……誕生会  
 歯をみがきましょう（則武） ……6月4日むし歯予防デー・しつけ歌  
 お爪を切りましょう（本多） ……しつけ歌  
 お父さんの歌 ……6月父の日  
 月（文部省唱歌） ……お月見（《うさぎ》などでも良い）  
 うちのおじいさんおばあさん（リズムの会） ……9月15日敬老の日  
 いもほりの歌 ……11月23日勤労感謝の日・秋の収穫  
 たこの歌（文部省唱歌） ……お正月  
 日の丸（岡野） ……2月11日建国記念日  
 卒園の歌 ……卒園

以上の14曲（種）を加えるとほぼ一年間の行事の歌がそろうことになる。複数の歌や無指定の歌（特定の歌ではなくどれでも良い）を含んではいるが、とりあえず50という数におさめてみた。

## お わ り に

今回は幼稚園での行事と幼児歌曲についての考察を行ったが、今後は音楽リズムにおけるリズム反応、合奏、自由表現などの、さまざまな視野にたった研究を続けてゆきたいと思っている。この小論をまとめるにあたってご協力いただいた20の幼稚園、ならびにその報告を手伝って下さった東京女子体育短期大学児童教育学科昭和49年度卒業生の皆さんに、心から感謝いたします。

## 参 考 文 献

（15の関係書を除く）

- 幼稚園教育要領・音楽リズム（文部省）  
 幼稚園教育指導書・音楽リズム（文部省）  
 音楽教育法：井上武士著（音楽之友社）

- 音楽科教育法：教員養成大学音楽教育研究会編（音楽之友社）  
情操・意志・創造性の教育：時実利彦編著（第一法規）  
新しい音楽通論：菊本哲也著（全音楽譜出版社）  
世界舞踊史：クルト・ザックス著・小倉重夫訳（音楽之友社）  
舞踊の美学：邦正美著（富山房）  
舞踊創作とイメージ構成：村浦とく著（明治図書）  
その他音楽リズム関係の書多数